

From 投稿コーナー

ワンテーマアンケートの結果を大公開！
定番の答えから、「なるほど〜」となる
個性的な答えまでたくさんありました！

テーマ「今まで食べた中で一番のごちそうは？」

MENU

期間：2012.9～2012.12

* やきにく *

たまーに食べたくなる。(増井さん/12歳)

* おぎとろ *

たんじょうびにすしパーティ！(TBSさん/11歳)

* 妹とお父さんで作ったケーキ *

お母さんのたんじょうびに妹とお父さんで
作ったケーキをみんなで食べたとき、
手作りだったからとてもおいしかった。
(ゆーさん/11歳)

* まぐろのおさしみ *

食べたとき、しあわせ〜っておもう。
(黒ネコさん/11歳)

* やっぱいお母さんのごはん *

(AKB48(うそです。)さん/10歳)

* 北海道のシカの肉 *

小4のとき北海道旅行に行った時に、
シカの肉を食べました。
すごくおいしくてわすれられません。
また食べたいな！
(ゆきりんさん/13歳)

* 甘い物全部 *

甘い物大大好き！
アイスやチョコ、クッキーも！
(K. Aさん/11歳)

* 11歳のお誕生日ケーキ *

この前、わたしは誕生日で、10歳を過ぎ
たらあんまりお祝いしてくれなかったけ
ど、おばあちゃんがこっそり買ってきて
くれたケーキを夜中に食べたのがとても
おいしくかんじた！(りーさん/11歳)

etc...

お寿司に焼き肉、お母さんの手作りごはんに手作りケーキ…どれもおいしそうな
ごちそうばかり！投稿してくれたみなさん、ありがとうございます。

第19回ワンテーマアンケート実施中！

今回のテーマは「バレンタインの思い出 or 予定」
みんなの投稿お待ちしております！

日本でバレンタインデー♥がはじまって約80年。日本独特に
変化を続け、今では本命チョコはもちろん義理チョコや、友チョコ、
逆チョコ！という贈り方までありますね。

みなさんのバレンタインの素敵なエピソードをお待ちしております。



お知らせ

「ごちそうといえは
すきやき……お肉もおい
しいけれどそれより春菊
とねぎがたまりません。
拍手のひとつもおくりた
い。(おもち)

「あまり外食に行く
ことがなかったの
で小学生の時に、
ステーキを食べに行っ
たのが一番のごちそうで
す。(へん)

「皆さん風邪ひい
てないですか？毎年私
は、みんながダウンして
いるとき一番元気で、回
復したとき一番弱って
います。なぜ…？(はん)

「女子高時代、バレ
ンタインにクラスメイ
トに干し芋を1枚ずつ
配りました。教室のスト
ーフで焼く用のアルミ
ホイル付きで！(こり)

ティーンズレター
第23号はいかがでし
たか？次回は夏頃に
お会いしましょう♪

編集後記



2013年3月発行

ヤングアダルト通信
VOL.23

習志野市立大久保図書館

習志野市本大久保 3-8-19

TEL：047-475-3213

【PC版】<http://www.city.narashino.chiba.jp/toshokan/>

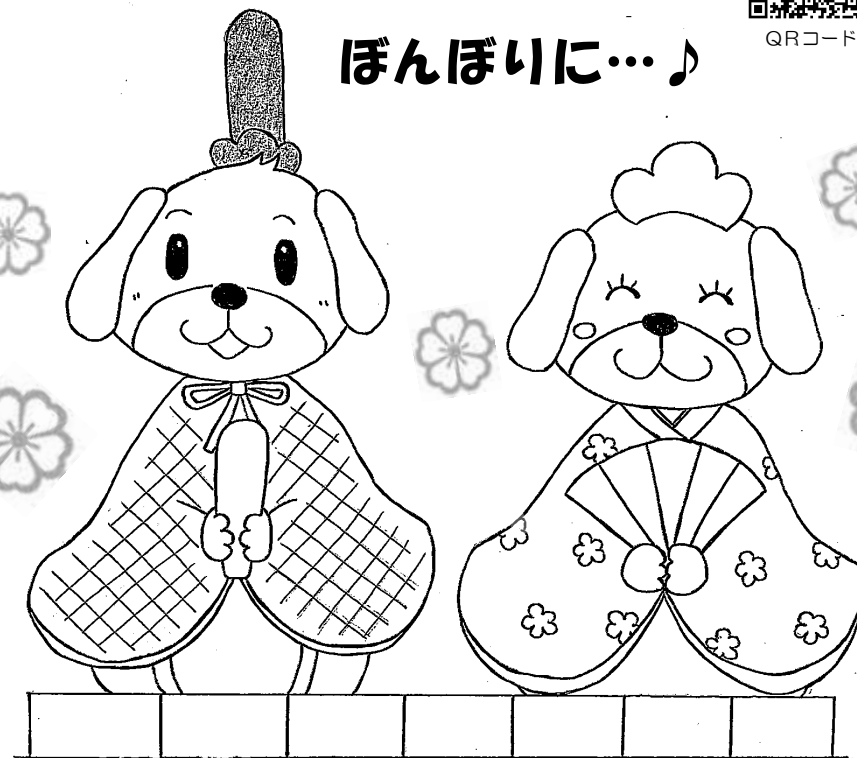
【携帯版】<https://m.narashino-lib.jp/>



QRコード

あかりをつけましょ

ぼんぼりに…♪



ティーンズコーナー BOOK NAVI

年度末恒例の「これをよめ♥」も
みなさんのおかげで第5回目になります。
2012 年度にティーンズコーナーに入った本の中から
担当者たちのおすすめを紹介します。
笑って、泣けて、学べる本たちがいっぱいです。

これをよめ



『ハイスクール歌劇団男組』 米原 弘樹／著 幻冬舎

頑張っても自分には無理、やるだけ無駄とだらだらと生きてきた弘樹。しかし高校3年生になったばかりのある日、担任の先生から大学の推薦入試を受けたいならまず、『高校時代の思い出』というテーマの作文を提出するようと言われる。そこではじめて、2年間の男子高生活の中で思い出に残るエピソードが何もないと気付いた弘樹は、友達の隼人と直弥を巻き込み学園祭で男子だけの宝塚の舞台をすることに！最初はグダグダだったメンバーも本物の舞台を見て宝塚の素晴らしさに気付き、みんなで協力して何かを成し遂げることの大切さを学んでいく。女装にも化粧にもハイヒールにも無縁だった男子高校生たちの、汗と涙と友情のストーリー。



『仔猫の恋』 飯田 雪子／著 双葉社

10年以上片思いしていた彼が、知らない女と結婚してしまう……。伝え続けた好きという想いは彼には伝わっていなかったと悲しむ美羽。一方2人きりの家族である姉が、突然会社の同僚と結婚するといいだし、自分の知らないくらいでもない男との結婚なんか許せない！とイラつく達矢。彼の両親に挨拶するため、結婚相手の女が彼の家に来る日、こっそり様子をうかがっていた美羽は、同じく様子をうかがっていた達矢と知り合う。そして2人の奇妙な共同戦線の幕があがるのです！



『モールで作る小さなどうぶつ』 国本 雅之／著 河出書房新社

イヌ、ネコ、ひつじなど、わずか3cmのかわいすぎるどうぶつたちの作り方を紹介しています。作るための道具から材料、手順やポイントなど写真つきで丁寧に説明してくれるので初心者でも大丈夫。手芸好きの人も、手芸はやったことがないけれど興味があるという人も、ぜひこの機会に自分だけのミニチュアどうぶつ作りにチャレンジしてみたいかがでしょうか。



『桜大の不思議の森』 香月 日輪／著 徳間書店

黒沼村に住む13歳の桜大。その村にはたくさんの“不思議”が存在する森があったが、人々はその森を愛し、そこに宿る神様を信じて暮らしていた。桜大もそんな“不思議”を感じながら日々を送り、センセイや魔法使いに出会いながら少しずつ成長していく。

“不思議”の出現にドキドキしつつも、田舎ならではの人と人との繋がり
の強さ、目に見えないものを敬う心、自然豊かな風景に心がほっとあたたまる1冊。



『月の輝く夜に／ざ・ちえんじ！』 氷室 冴子／著 集英社

時は平安、所は京、世は泰平の極み。名門・権大納言家は、深刻な悩みを抱えていた。その悩みとは2人の子どものことだ。姉は頭脳明晰、明朗活発で綺羅君と呼ばれ、都中の評判。一方弟は、すぐ失神してしまうほど繊細な神経の持ち主で、綺羅姫と呼ばれていた。『ざ・ちえんじ！』

表題作2編のほか、文庫未収録作品『少女小説家を殺せ!』、『クララ白書番外編 お姉さまたちの日々』の全4編を収録した1冊です。



『世界のタワー』 パイインターナショナル

誰もが知っている有名なタワーから、あまり知られていない隠れた絶景タワーまでを1冊にまとめた写真集です。他にも絶叫アトラクションやバンジー・ジャンプがあるタワー、プール付きのタワーなど、突き抜けた美しさ、天高くそびえ立つ104の絶景タワーを楽しめる1冊です。



『マトリョーシカ』 ウッドバーニングの店木の香／監修 グラフィック社

『カエル』 自由が丘FROGS／監修 グラフィック社

『ぶた』 友貴千里／監修 グラフィック社

「乙女の玉手箱シリーズ」の3冊。

さまざまなハンドメイドの分野でモチーフとして盛んに取り上げられる“マトリョーシカ”、コレクションアイテムとして圧倒的な人気を持つ“カエル”、ラッキーアイテムとして世界各国で愛される“ぶた”を「愛でる」「旅する」「調べる」などのアプローチで徹底紹介しています。



『ほかの誰も薦めなかったとしても』

今のうちに読んでおくべきだと思う本を紹介します。』 河出書房新社

翻訳家の金原瑞人さんや作家の森絵都さんなど様々な分野の著名人たちがみなさんと同じくらいの年齢の頃に読んで影響を受けた本や印象に残っている本について、当時のエピソードや思ったことなどをまじえて紹介しています。あなたの興味を引く本があったらぜひ読んでみてください。そして本を読んだ「今」の気持ちを大切に、大人になった時にぜひ思い出してください。



『5分で読める！ひと駅ストーリー 乗車編』

『5分で読める！ひと駅ストーリー 降車編』

「このミステリーがすごい！」編集部／編 宝島社

駅をテーマに様々な作家が書いたショートストーリーが楽しめる本。日ごろ勉強や部活などが忙しくて本を読む時間がない人でも気軽に読めます。笑いあり、感動あり、謎解きありで、短いながらもついおはなしに引き込まれてしまいます。

